

自己点検・評価報告書

ESL ラボ日本語学院名古屋

実施日：令和6年（2024）4月1日

1. 教育の理念・目標

1.1 学校の理念、目的・目標及び育成人材像が明確になっているか。	
教育理念：人と人とお互いを尊重し合える関係を築き、世界平和に貢献すること。 教育目標：意思伝達の媒介となる言語を共有することにより、他の文化や価値観を尊重できる寛容性と、 変化の激しい国際社会においても自らの信念を貫ける国際感覚を持った人材の育成を目標とする。	
1.2 理念、目的は職員及び学生に周知、徹底されているか。	
教育理念及び教育目標はホームページにて公開している。教職員には講師会議の際に、学生へは入学、進級等の各オリエンテーションの際に確認の機会を設け、内外への周知ができるようにしている。	

2. 学校運営

2.1 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。	
日本語教育機関の告示基準及び、同解釈指針に基づいた学校運営を行っている。	
2.2 学校の理念や目的に基づいた学校の運営方針や事業計画が定められているか。	
教育理念、教育目標に基づいて運営方針、事業計画を定めている。	
2.3 組織運営や人事、財務管理に関する規定が定められているか。	
組織運営や人事、財務管理に関する規定は定められている。	
2.4 学校運営を合理的に行うための会議体が規定されているか。	
管理職による運営会議を定期的実施。運営会議で定められた各種規定は、職員会議において職員へも明示されている。	
2.5 効率的な業務運営を行うために、情報システム化が図られているか。	
効率的な運営業務を行うために、web会議、クラウドシステム等を利用し、職員間で情報を共有している。	
2.6 学校運営に必要な人材確保と育成が行われているか。また、確保した人材の処遇の向上が図られているか。	
運営上必要な人材確保のための採用活動は必要に応じて行い、各業務に合わせた指導育成を行っている。 定期的に職員と管理職との面談を実施し、年度毎に処遇の向上を図っている。	
2.7 危機管理体制が整備されているか。	
災害・事故等の非常時に、職員及び学習者が円滑に連絡をとることができるように体制を整備している。	

3. 教育体系

3.1 教育理念に沿った教育課程が体系化されているか。	
教育理念に沿った教育課程を策定し、学生の様子、熟達度、レベルに基づいてカリキュラムを編成している。	
3.2 成績評価や進級、修了の判定基準を明確にし、適切に運営されているか	
年4回の定期試験及び、出欠状況・課末テストの結果により成績評価を行い、結果を掲示している。 進級・修了の判定基準は学生に周知し適切に運営している。	
3.3 カリキュラムは体系的に編成されているか。 また、カリキュラムの見直し、変更を行っているか	
入学時のプレースメントテスト結果、各種テスト結果、進路希望など総合的に判断し、学習者の能力に合わせてカリキュラムを編成している。学生の理解度に合わせて、適宜カリキュラムの見直しを行っている。	

4. 教育指導・成果

4.1 カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。	
カリキュラム及び教材は学生のレベルに合わせて選択し、学習者のレベルに応じた授業を行っている。	
4.2 学生の能力に応じた授業・指導を行っているか。	
学習者の能力に応じたクラス編成・指導を行っている。	
4.3 学生の理解度を把握し、適切な指導を行っているか。	
各種テスト、定期試験、授業の様子、面談等により熟達度を把握し、適切に指導を行っている。	
4.4 教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	
教員へは定期的なミーティングを実施。規則、教授法、指導方法等の共有をし、指導力向上への取り組みを行っている。また、外部講習等への参加を呼びかけ、支援を行っている。	
4.5 学生の日本語資格取得（EJU, JLPT 等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか。	
日本語能力試験（JLPT）、日本留学試験（EJU）等の受験を推奨。対策授業、模擬試験等を実施し、受験へ向けた支援を行っている。	
4.6 日本語取得の不足している学生に対し適切な対応策をとっているか。	
学習者のレベルは各クラスの担任が把握し、不足している日本語能力へは個別に対応している。	
4.7 学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか。	
進路指導は、担任と進路指導者が連携し、学生の活動状況を管理している。進路決定、卒業後の進路が決まるまで学生と綿密なやりとりを行っている。	
4.8 学生の卒業後の進路を適切に把握しているか。	
学生本人及び進学先の学校と適宜連絡を取り合い、進学後、その後の状況を把握するよう努めている。	
4.9 大学・大学院及び専門学校に進学先情報また就職先情報を積極的に収集しているか。	
進学先情報、就職先の情報は、進学先の学校や企業への訪問、または先方の来校により、情報を収集している。	

5. 学生支援

5.1 学生に対する学習相談や進路相談の支援体制が整備されているか。	
学習相談及び進路相談は担任と進路指導者が担当し支援している。校内外で実施される進路説明会への全員参加、また、専門学校・大学での授業体験への参加の推奨をしている。学習者とは定期的に個人面談を実施し、生活・学習・進路の支援を行っている。	
5.2 出席率が低下した学生に対し適切な対応策をとっているか。	
出席率 90% 以下の学生には面談、訪問などの個別指導を実施している。	
5.3 学生の健康管理や安全対策及び生活指導の支援体制が整備されているか。	
健康管理については、健康診断を実施。欠席者、病気になった学習者とは連絡を取り合い、体調がすぐれない場合は快方を確認するまでサポートを行う。安全対策として、入学時及び定期的な交通規則の確認。防災指導日を設け、防災講習、避難訓練を実施するなど、非常時の対策を行っている。	
5.4 学生の経済面に対する支援体制は整備されているか。	
市区町村の給付金を受け取ることができるようサポートした。また、日本学生支援機構の支援金等により、経済面のサポートを行っている。学生の状況を踏まえ、父母との連絡を取り合うなど、個別に相談対応できるように配慮した。	
5.5 学生の居住環境及び生活環境の支援体制は整備されているか。	
居住環境は学生寮を完備し、サポートや生活指導等も徹底して行っている。	
5.6 保護者と適切に連携しているか。	
保護者との連携においては、学生の現地センターの協力や保護者に直接電話をするなどが対応可能な体制をとっている。	

6. 教育環境

6.1 学校の施設、設備は十分かつ安全に整備されているか。	
学校の施設・設備は整っており、安全に使用できるように管理している。授業後は毎日清掃を行い、学生の忘れ物、落とし物なども管理している。	
6.2 教育資材は適切に整備されているか。	
教育資材として、指導教材等に加え、web 環境や、PowerPoint 等を使用した授業を行うことができるよう整備している。	
6.3 学習効率を図るための環境は整備されているか。	
学生が 1 人 1 台パソコンを使用する授業を設け、学習の効率、進学後の学習のサポートを行っている。	

7. 入学者の募集

7.1 学生募集活動は、適切に行われているか。	
学生募集は年 2 回実施（4 月 10 月）、現地面接及び、Skype にて入学希望者への試験を行っている。面接・日本語等のレベルチェックを行い、学習意欲や経費支弁状況などを確認したうえで受け入れを決定する。	

7.2 入学許可選考基準が明確に定められているか。	
選考基準は面接・筆記試験・母国の成績や出席状況等により策定し、基準をもとに入学を判断している。	
7.3 入学者に対するオリエンテーションを行っているか。	
入学時にオリエンテーションを実施している。学習計画や進路はもとより、法律、マナー、学生生活や校内ルールなどの説明を母国語に翻訳した資料を配布し、説明している。	
7.4 学校情報は授業料も含め、学生の母国語で掲載した資料で説明しているか。	
学校情報、授業料等は英語、または学生の母国語で掲載した資料で説明している。	
7.5 入学辞退者、中途退学者に関する手続き及び授業料等の返納について明確に規定されているか。	
入学辞退、中退に関する手続き及び授業料等の返納について規定した内容を募集要項に記載し、明示している。	

8. 財務

8.1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	
学校の財務基盤は安定している。	
8.2 予算、収支計画は適切に立案され、実績との差異分析及びその対応は適時に実施されているか。	
予算、収支計画ともに短中期的な計画を作成しており、月次の点検を行うことで有効性を担保している。	
8.3 財務に係る会計監査は適切に行われているか。	
税理士と連携を取れる体制を確保しており、財務状況の公開を求められた場合、公開する体制が整っている。	

9. 法令遵守

9.1 入出国管理及び難民認定法をはじめ、各種関係法令を遵守し適切な運営をしているか。	
入出国管理及び難民認定法および各種関係法令を遵守し、適切な運営ができている。	
9.2 個人情報保護の取り組みは、適切に行われているか。	
個人情報はデータ管理をメインとし、紙媒体の書類については、規定に基づき管理している。	
9.3 学生に対し、我が国の法令を遵守させる指導を行っているか。	
学生には入国時及び定期的なオリエンテーションを実施し、学生本人が理解できる言語で留学生活に係る法律・規則の説明を実施している。学校内にも同様の内容を掲示し常に指導を行っている。また、月に1度、法律や規則を確認する時間を設けている。	

9.4 自己評価を実施し、問題点の改善に努めているか。	
自己評価の結果は今後の改善点として職員間で共有し、改善に努めている	
9.5 自己評価の結果を公開しているか。	
自己評価の結果は当校のホームページ (https://www.jsllab.jp) に掲載し、公開している。	

10. 地域貢献・社会貢献

10.1 学校施設の活用や社会・地域貢献を行っているか。	
学生へ向けて交通マナーや犯罪防止の講習を実施。近隣住民にも迷惑がかからないよう、騒音を立てない、道にゴミを捨てない、道を占領して歩かない等の指導を徹底している。	
10.2 他の教育機関、企業、団体及び地域との連携、交流を図っているか。	
名古屋市内の高校や大学等の教育機関からインターンシップの受け入れを実施。幅広い年齢や国籍の方と多文化理解を図る取り組みを行っている。	